

平成 23 年 11 月吉日

摂津市教育委員会
教育長 和島 剛 様

摂津市学校給食会
会長 敷本



中学校給食実施にかかる意見（報告）

標記のことについて、摂津市学校給食会では 3 回にわたり、その方式等について検討を進めてまいりました。これまでの議論等を踏まえ下記のとおり意見をとりまとめましたので、報告いたします。

記

- ① 中学校給食は全員喫食の完全給食で実施することが、「栄養面」、「衛生面」、「食育指導」、「負担の公平性」等の観点からも適切であると考えますが、中学校現場からは、給食の是非以外の諸問題で、その不安等が出たのも事実である。
また保護者のつくるお弁当との併用についての可能性も十分議論し、お弁当をつくることの意味合いや、効果等を踏まえたなかで決定いただきたい。
- ② 完全給食の実施方式については、各中学校に調理場を建設する自校方式は敷地等の問題からも困難であるが、センター調理場方式、小学校の調理場を主たる調理場とする親子方式、さらには、外部の業者の調理場で調理したものを配送するデリバリーランチ方式でも完全給食の形式をとることは可能と考えられる。これらの選択については、コストの問題、学校現場や保護者の意見、さらには、法的制約等を踏まえ、市としてより有益な方式を選択いただきたい。
- ③ 調理場の新設、改修等に伴う設計、工事等の実施に際しては、栄養士、調理員、学校教職員等との意見交換等を実施するなど、現場の意見を反映いただきたい。
- ④ 今後、平成 28 年度の給食開始に向け、引き続き本学校給食会、並びに中学校現場の教職員等と、議論・意見調整するなどし、スムーズな中学校給食開始が可能となるよう努められたい。